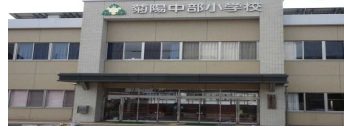


よう

こう

# 陽 光

菊陽町立菊陽中部小学校  
2020年（令和2年）



学校だより  
7月20日  
第10号  
文責：佐賀

校 訓  
夢を持って歩み続ける



↑〔本校学校運営協議会委員の皆さん〕

## 学校運営協議会の開催（6/26） ～学校と地域の協働で子どもを育てる～

今年度1回目の学校運営協議会を本校で開催しました。社会の急速な変化に伴い、子ども達を取り巻く環境は複雑化しており、学校だけで教育を推し進めることが困難になってきています。そこで、学校と地域が連携・協働して子ども達の健全な育成をめざすために組織されたのが学校運営協議会（コミュニティスクール）です。当日は委員の方々に授業参観をしていただき、その後学校の経営方針等を説明しました。この一年、各委員の皆さんに御意見等をいただきながら、学校経営を行っていきます。

【委員（敬称略）】○西本憲二（区長会）○種村哲文（民生児童委員）○吉村光裕（元PTA会長）○今井政男（元PTA会長）○土野和道（校区青少年健全育成会長）○生駒名保子（読み聞かせ代表）○堤勇治（津久礼駐在所）○堤建太（PTA会長）○長野智絵（PTA母親部長）○内田早苗（町コーディネーター）○学校関係者

### 学校運営協議会（コミュニティスクール）「地域とともにある学校づくり」

菊陽町では、町内全小中学校に、学校運営協議会（コミュニティスクール）を設置し、「地域とともにある学校づくり」をめざしています。子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子ども達の豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。そのためには、学校と地域がよきパートナーとして、「地域でどのような子ども達を育てるのか」、「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有することが重要です。そこで、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」へと転換を図る仕組みとして、コミュニティスクール（学校運営協議会制度）を取り入れ、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていきます。

#### 【学校運営協議会の主な役割】

- (1) 校長が示す学校運営の基本方針を承認する。  
育てたい子ども像やめざす学校像等に関する学校運営のビジョンを共有します。互いに当事者意識を持って、めざすところを共有し、協働へとつなげていきます。
- (2) 学校運営に関する意見を教育委員会または校長に述べるができる。  
広く地域住民等の意見を反映させることができます。
- (3) 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる。  
学校の課題解決や教育活動の充実のために、校内体制の整備充実を図る観点から、意見を述べるができます。

#### ★コミュニティスクール導入で期待できる効果★

- 保護者・地域住民も子ども達の教育の当事者となり、責任感を持って積極的に教育に携わることができるようになります。
- 保護者・地域住民にとって、学校運営や教育活動への参画は、自己有用感や生きがいにつながります。さらに、子ども達の学びや体験が充実します。
- 保護者・地域住民と学校が顔が見える関係となり、保護者や地域住民の理解と協力を得た学校運営が実現します。